

## 男フェス3年振り開催 彩の国男声コーラスフェスティバル2022

2020年、21年と2回にわたり中止となった彩の国男声コーラスフェスティバルをようやく開催しました。

10月1日(土) 秩父宮記念市民会館大ホール

出演: Chor Ursa Major / in high glee / 飯能フォレストコー  
ル / 所沢メンルコール / 秩父混声合唱団 / 男声合唱団ヴィ  
ヴ・ラ・コンパニー / ベーレンタル男声合唱団 / 男声合唱団  
オールアリオン\* / 男声合唱団コール・グランツ / 男声合唱団メン  
ネル A.E.C. / Il Campanile / メンルコールありの美

(※法政大学アリオンコールOB・OG会)

出演団体は、前回の31団体から激減し12団体となりましたが、このコロナ禍ですからやむをえませぬ。

### 2年続けて中止の異常事態から脱出

「コンクールはやったのに、なぜ男フェスは中止なのか？」というぼやきに対して、埼玉県合唱連盟・小野瀬照夫理事長は「コンクールは音源と実際の演奏とを並べて審査したが、団体ごとの接触を避けるために、受付時間をずらすなどの調整や演奏後の即時退出などをお願いした。しかし、男フェスはいわゆるフェスティバルであり、全員が集い、歌い合い、歓談して盛り上がってこそ催しなので、リモートでの開催は考えられません。そこで止む無く中止としました。」と苦しい胸の内を明かしていました。

悪夢のような2年間は、感染状況を睨みながら全日本合唱連盟ガイドライン等を参考に、如何にしたら開催できるかという可能性を探る厳しい環境のなかで過ぎていきました。

### 開催することが大切

そして、今年こそはと気持ち新たに大会を企画しました。果たしてどれだけの方が参加してくれるのか、心配は尽きませんでした。会場の秩父宮記念市民会館大ホール(1,007席)は、2017年建設された多目的ホール、秩父産の木材を使った落ち着いた空間です。司会はハッサンこと蓮沼常務理事(写真右)と筆者(同左)が担当し、懇親会のようなユル〜イ流れで進めました。客席での声出し不可、歌えるのはステージ上のみ、かつ不織布マスク装着が条件です。更衣室はありますが、リハーサル室はありませんでした。当日午前中は、公募のフェスティバル合唱団が合同演奏曲「この道を行く」「酒頌」を



講師の武田雅博先生から指導を受け、午後の演奏会で本番を迎えました。

開演は午後1時。12団体を2ブロックに分け、さらに出演番号奇数と偶数の2ブロックに分け、計4ブロックにして交互にステージ上で合同演奏する形としました。これでどの団体も自団の演奏の他に4曲の合同演奏をステージで歌うことができます。とにかく1曲でも多くの男声合唱を歌ってもらえるよう工夫しました。



武田雅博先生、全日本合唱連盟関東支部の松原真介支部長及び玉川昌幸副支部長の三人の講師による審査の結果、以下の4団体が表彰されました。副賞は**秩父錦**一升でした！

- ・良かったで賞 in high glee
  - ・気になったで賞 Il Campanile
  - ・いい味だしたで賞 所沢メンルコール
  - ・嫌いじゃなかったで賞 男声合唱団オールアリオン
- ↳ 武田先生が急きょ『大好きだったで賞』に変更(^^)



◆ 詳しくは以下をご覧ください ◆

プログラム

[http://rkato.sakura.ne.jp/music/20221001\\_sainokuni\\_danfes\\_.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/music/20221001_sainokuni_danfes_.pdf)

大会レビュー

[http://rkato.sakura.ne.jp/music/m183\\_sainokuni\\_danfe\\_2022.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/music/m183_sainokuni_danfe_2022.pdf)

彩の国男フェスは連盟加盟の有無を問わないオープン参加です。これからも関東一円の合唱団にお声がけしますので、ぜひご参加ください。来年は9月に桶川市(JR大宮駅から15分の桶川駅)で予定しています。なんとかコロナ禍が収まり、マスクが外れ、心おきなく懇親会で盛り上がるのを祈るばかりです。アマビエ様のご加護を…